

### 春ですねえ！ちょっとそこまで…

暖かくなると外にでかけたくなりますよね。そこで区内のお勧めスポットを紹介します。

- ①洗足池ボートハウスの屋上テラス（池上線 洗足池駅）  
花見で一度は訪れた事があると思いますが、ボートハウスの上から見る池は広く感じるのです。いつもと違う雰囲気味わえます。
- ②多摩川土手21世紀桜並木（多摩川線 下丸子駅辺りより）  
多摩川沿いの土手数キロにわたって桜並木が続きますが、桜のピンクと菜の花の黄色、ハナダイコンの紫色のコラボレーションが目を楽しませてくれます。  
（お弁当でも持ってどうぞ）
- ③羽田イノベーションシティ（HIC）の足湯  
（京急羽田線「天空橋」直結、またはJR蒲田駅よりバス）  
高い建物が近くにないのでとにかく空が広い。飛行機を見ながら足湯につかるとストレス解消、間違い無し。  
おまけに区内の銭湯はいかがでしょうか。都内でも銭湯の数が一番多い大田区。昔のイメージとはまるで違うのです。天然温泉（黒湯）付・サウナ付き・露天風呂付・お休みどころ付、その午前中から開いている銭湯もあるのです。  
（70歳以上の人は区に申請すると200円で入れる券（いきいき入浴証）がもらえますよ。）  
さあ、散歩に出掛けましょう。

（笹丸・小林 忠雄）

～いきいき入浴証～

#### <対象>

区内に住民登録があり、現に居住しており、年度内に満70歳以上に到達する方が対象です。

- 昭和30年4月1日までに生まれた方であれば申請期間中いつでも申請できます。
- 介護老人福祉施設等に入所の方を除きます。
- <ご利用について>
- ご本人負担1回200円で、銭湯がご利用できます。
- ご利用回数は、2か月で6回、年間36回です。
- ご本人負担0円の「ゆ～体験」が、令和7年3月末までに1回、ご利用できます。
- 該当月以外の入浴証シールは、ご利用できませんのでご注意ください。

～詳しくはこちらから～



### 自治会1区記事：小池自治会 小池自治会のお稲荷さん

小池自治会には、自治会館の隣にお稲荷さんがいます。小池稲荷は安政4年（1857年）、凶作に悩む小池の村人が、村内に稲荷神社を祀ろうと相談をまとめ、翌年京都の伏見稲荷までご神木を授かりに旅に出ました。ご神木を小池に持ち帰り、お祀りしましたがその後各屋敷内にある祭神とともに今の場所に合祀しました。



昭和33年に子安八幡神社のご神木も合祀し現在に至っております。小池自治会館はお稲荷さんの敷地内に建てられたものであり、小池自治会はお稲荷さんあつてのものでもあるので、今後の維持管理は小池の住民有志による小池稲荷を守る会で行っていくことになりました。

小池稲荷を主体として行ってきた初午や庚申待、小池若者組合が行ってきた祭礼や年越し餅つき、小池公園春祭り、子ども餅つき大会への協賛も行ってまいります。

昨年末の年越し餅つきは、神社を華やかにライトアップし約300人を超える方々にお参りいただきお餅を持ち帰っていただいて大変な賑わいでした。また元日の昼の初詣でも多くの方々が参拝にられました。

これからも小池自治会、小池若者組合、小池稲荷を守る会が力を合わせて地域活動を活発にしていこうと思います。

（小池・森井 郁夫）

#### \*\* 編集後記 \*\*

新年を祝うはずだった元日に能登半島地震が発生しました。多くの建物が倒壊し、テレビの画面にはその惨状を前に立ち尽くす人々の姿が連日の様に映し出されました。大量に発生した瓦礫の撤去には多大な労力を要し、インフラの復旧を経て街が元の形を取り戻すには長い時間が掛かる様です。首都直下型地震や南海トラフ地震にいつ見舞われるかも知れない私たちは、思わずわが身に置き換えてしまいます。

延々と続くかもしれない避難生活…そんな中で、この「ふれあい雪谷」はどんな役割を果たせるのだろうか。

（南雪谷・河野 洋一郎）

#### [編集委員]

笹丸・小林 忠雄/雪谷石川台・手塚 眞利子/南雪谷・河野 洋一郎/  
東雪谷東中・小山 智恵子/東雪・永久保 美代子/池の台・柏 三八子/  
小池・小山 憲生/上池上・船山 康夫

ふれあい雪谷(創刊・平成2年12月20日) 年4回発行  
(1月・新年号/4月・さくら号/7月・あさがお号/10月・もみじ号/の1日発行)  
[発行日] 令和6年 さくら号 4月1日(通巻・第134号) 発行  
[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集] ふれあい雪谷編集委員会  
[連絡先] 大田区地域力推進部雪谷特別出張所  
〒145-0065大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

# ふれあい 雪谷

令和6年4月 さくら号 通巻第134号



by Osamu.  
2024.3/18

#### 荏原病院前のバス停

人気の無くなったバス停のベンチに桜の花びらがちらちらと。車の往来がふと途切れた静けさの中で花びらも次のバスを待っているようです。のどかな春の日の午後です。

小池・今成 修さんの作品

「ふれあい雪谷」のホームページはこちらからご覧いただけます。



## 雪谷地区有志懇親会に参加して

辰年の元旦早々に能登半島の大地震があり、翌2日には羽田空港での大惨事がありテレビから流れるニュースに大変不安を感じておりました。

自治会連合会の新年初の行事として1月23日池上会館にて、雪谷地区9自治会の懇親会が開催されました。自治会からは137名、来賓として連合会会長・区長・警察・消防・出張所・教育センター長・地元区議・顧問等19名が出席して、コロナ禍明けで数年ぶりの開催となりました。

私は今回初めてでしたのでどんな感じなのかと内心楽しみに参加をしました。

第一部は来賓の方々の紹介及び挨拶を伺い、いよいよ第二部からはお待ちかねの懇親会のスタートです。立食で乾きものつまみかと思っておりましたが、テーブル着席で料理も美味しく、アルコールも種類も多く想像を遥かに超えていました。

自治会のメンバーや他の自治会の方々とも親しく懇談しました。アトラクションのビンゴゲーム大会では、会場一同大いに盛り上がり、ビンゴ当選者の中に私も仲間入りができ、見事高級虎屋の羊羹の手提げに入った高級ティッシュをゲットすることが出来ました。(笑)

初参加をして懇親会の時間を持つことも必要だと思いました。また、何らかの形で各自自治会の現状や独自の工夫をしていることを知る機会を持てたらよいなと漠然と感じました。

(池の台・宇佐美 昭)



(区長と池の台自治会の皆さん)



## 「雪谷おやじの会」の御紹介

希望ヶ丘自治会の山崎と申します。私が所属している「雪谷おやじの会」の御紹介をさせていただきます。

雪谷おやじの会は2007年に当時の雪谷小学校のPTA会長が「子どもたちの笑顔のために」をモットーとして、雪小に通う子の父親を中心としたメンバーで創立されました。

私たちは現在、OB含め約60名のメンバーで活動を行っております。子どもたちが喜びそうなイベントの企画、学校行事のお手伝い、運動会での防犯警護や通学路での交通見守り、また商店街・自治会・神社のお祭りなど、地域イベントにも参加しております。

私がおやじの会に入って良かったと思う所をとりわけ2つ挙げさせていただきます。

1つは、多くの子どもたちの笑顔を、直接見る事ができる所です。元気あふれる満面の笑顔は、とてもパワーを貰えます。

2つ目は、子どものおかげで、大人になって、多くの友人が出来た所です。おやじの会の活動以外でも休日に出掛けたり、お酒を酌み交わして親睦を深めたりと充実した日々を過ごしております。子どものおかげでつながるご縁、本当にありがたいと感じております。

これからも、地域交流・相互扶助・防犯・防災等、暮らしの中でお役に立てるよう、努めたいと思います。

※雪谷おやじの会は、雪谷と子どもを愛する方ならば、どなたでも参加可能です。お気軽にお声掛け下さい。(お母様も大歓迎です。)



(希望ヶ丘・山崎 啓次)

## 雪谷地区の表彰者

- 法務大臣表彰  
海老澤 信吉
- 関東地方保護司連盟会長表彰  
中野 雄大
- 大田区区政功労者表彰  
橋本 昌之 鈴木 智恵子 佐藤 健治  
高山 美波 吉川 武康 上野 義之
- 大田区防災市民組織等感謝状贈呈  
東雪自治会(団体)  
国府方 仁 直井 政治(個人)

(敬称略)

## 東雪自治会で初の出張寄席を開催

東雪自治会では去る2月24日土曜日の午後、雪谷特別出張所会議室において落語会「第一回東雪ひるま寄席」を開催しました。大田区在住の落語家さんで青春時代を東雪谷で過ごされ当地に所縁のある真打落語家の三遊亭司師匠と二ツ目落語家柳亭市寿さんに出演をご依頼して開いた東雪自治会初の出張寄席には、三連休の中日ということではありましたが定員50人を超える多くの方々のご参加を得て「転失気(てんしき)」「花見酒」「八五郎出世」の三席を楽しみました。

東雪自治会では、コロナ禍前までは毎年この時期に国立演芸場で落語と噺家さん達が演じる鹿芝居を楽しむ演芸鑑賞会を開催していましたが、密を避けて長らく休会を止むなくしておりました。昨年、コロナがいよいよ明ける頃となりましたら今度は演芸場が建替えに伴い取壊わされることとなったことで、それに変わる新たな企画として開いた今回の出張寄席でした。

東京が今季最も冷え込んだとされる三連休の中日は好天に恵まれ、参加した皆さんは抱腹絶倒・大盛況の約2時間を楽しみホッパリ気分帰宅の途に着きました。

今回初めての試みとなる出張寄席でしたが募集開始からわずか一週間で定員を超える大勢の申込があり確かな手応えを感じたものでしたが、今後第二回、第三回と定員も増やしつつこの会を続けていけたらと役員一同期待を新たにいたしました。

自治会の皆さまには今後も是非楽しみにして頂いて、継続開催への一層の協力を賜りたいと思っております。

(東雪・小林 正幸)



当日の様子

